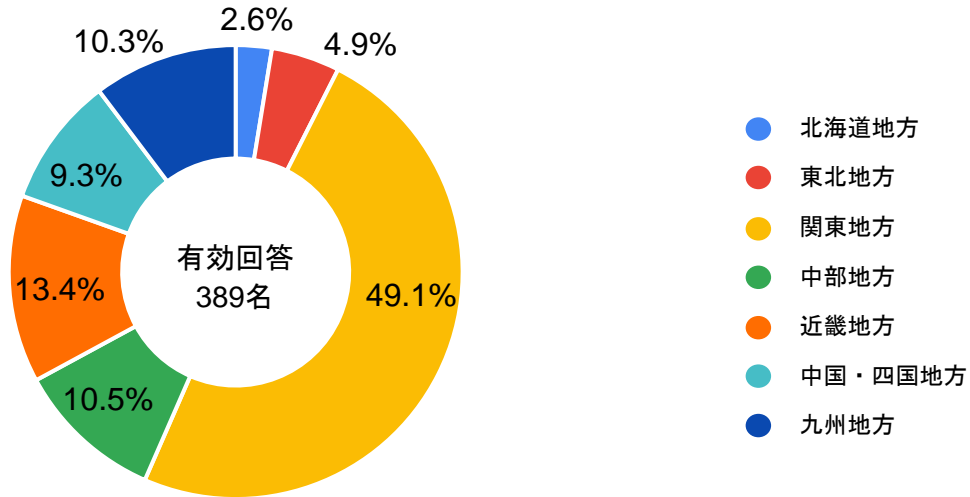


アンケート実施期間：2022年7月14日～2024年3月31日

**動画視聴前アンケート結果 (n=389)**

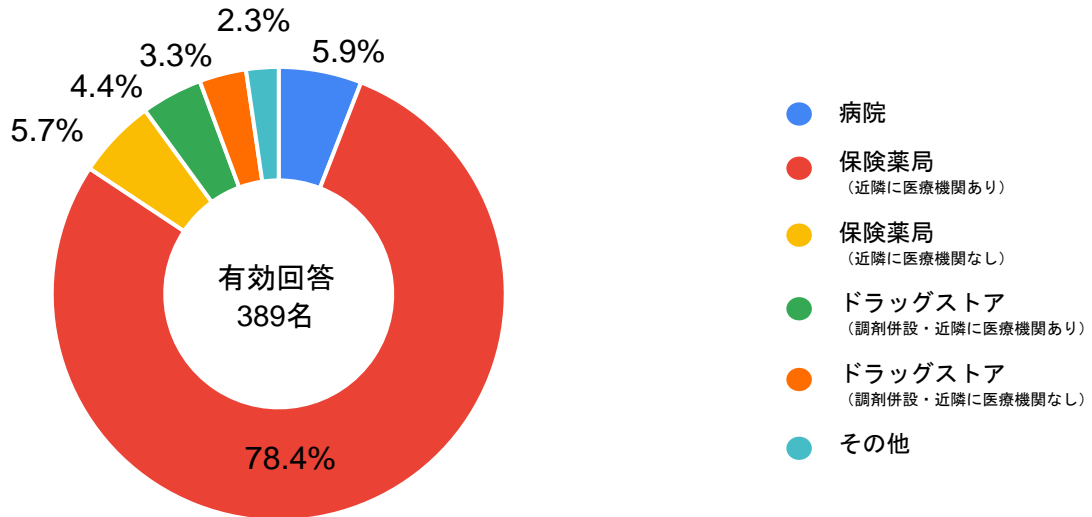
1. お勤め先の所在地を教えてください。



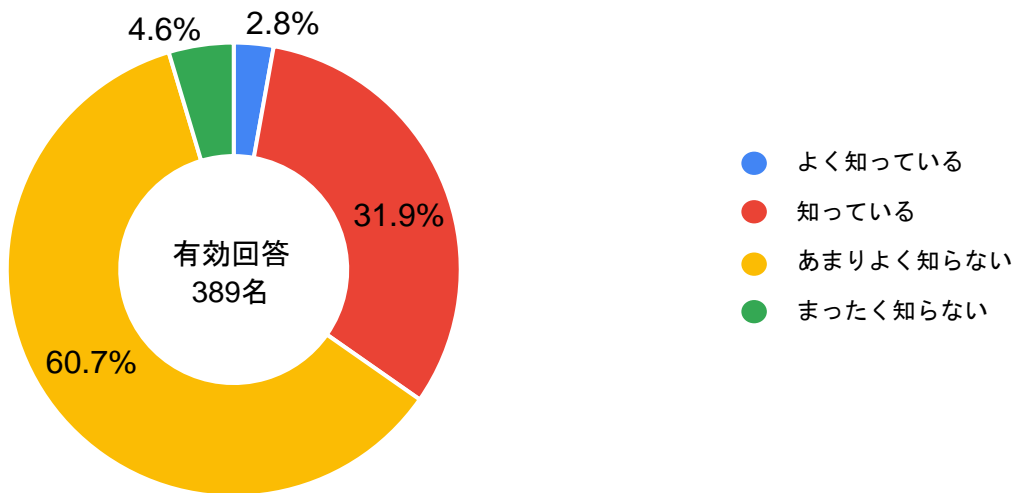
[名]

|       |      |      |         |      |    |
|-------|------|------|---------|------|----|
| 北海道地方 | 北海道  | 10   | 近畿地方    | 三重県  | 6  |
| 東北地方  | 青森県  | 2    | 中国・四国地方 | 滋賀県  | 7  |
|       | 岩手県  | 3    |         | 京都府  | 5  |
|       | 秋田県  | 1    |         | 大阪府  | 20 |
|       | 宮城県  | 4    |         | 兵庫県  | 7  |
|       | 山形県  | 4    |         | 奈良県  | 5  |
|       | 福島県  | 5    |         | 和歌山県 | 2  |
| 関東地方  | 茨城県  | 9    |         | 鳥取県  | 3  |
|       | 栃木県  | 6    |         | 島根県  | 1  |
|       | 群馬県  | 4    |         | 岡山県  | 7  |
|       | 埼玉県  | 77   |         | 広島県  | 4  |
|       | 千葉県  | 18   |         | 山口県  | 6  |
|       | 東京都  | 39   | 香川県     | 2    |    |
|       | 神奈川県 | 38   | 愛媛県     | 9    |    |
| 中部地方  | 山梨県  | 2    | 徳島県     | 3    |    |
|       | 長野県  | 12   | 高知県     | 1    |    |
|       | 新潟県  | 1    | 九州地方    | 福岡県  | 15 |
|       | 富山県  | 2    |         | 佐賀県  | 4  |
|       | 石川県  | 4    |         | 長崎県  | 2  |
|       | 福井県  | 2    |         | 熊本県  | 4  |
|       | 静岡県  | 7    |         | 大分県  | 0  |
|       | 愛知県  | 11   |         | 宮崎県  | 0  |
| 岐阜県   | 0    | 鹿児島県 |         | 2    |    |
|       |      |      |         | 沖縄県  | 13 |

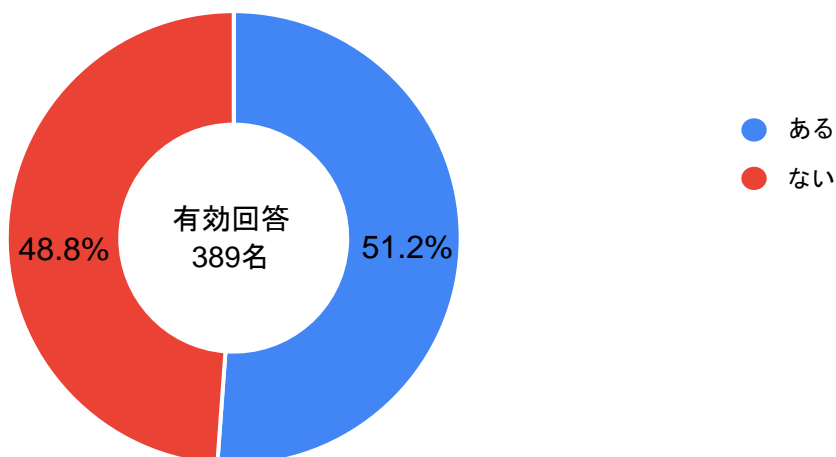
2. お勤め先を教えてください。



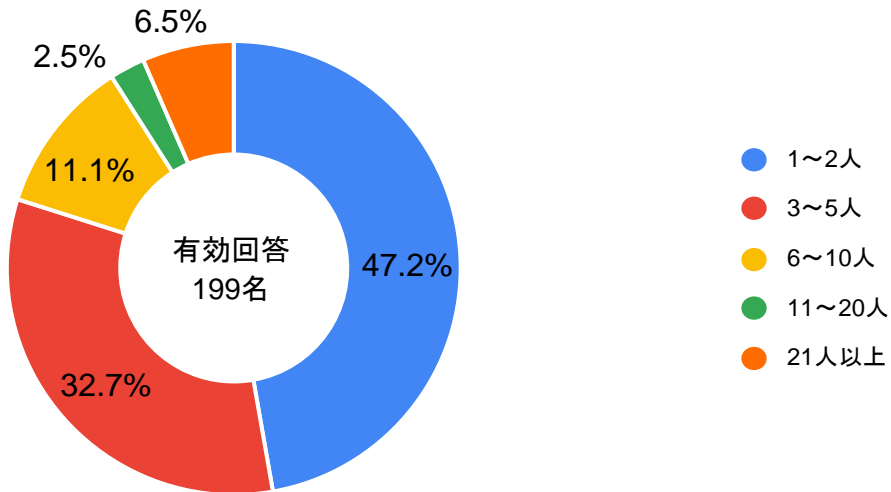
3. 慢性骨髄性白血病（CML）の疾患についてどのくらいご存じですか。



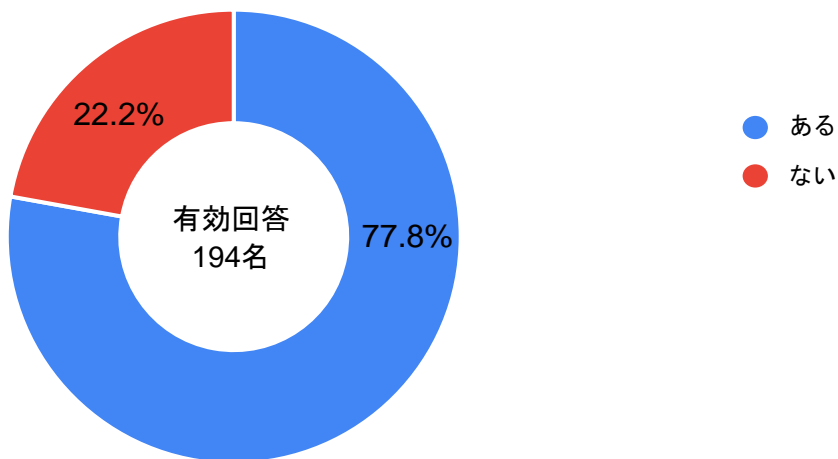
4. 慢性骨髄性白血病（CML）患者さんに対応した経験がありますか。



5. これまでに対応されたCML患者さんのおよその人数を教えてください。

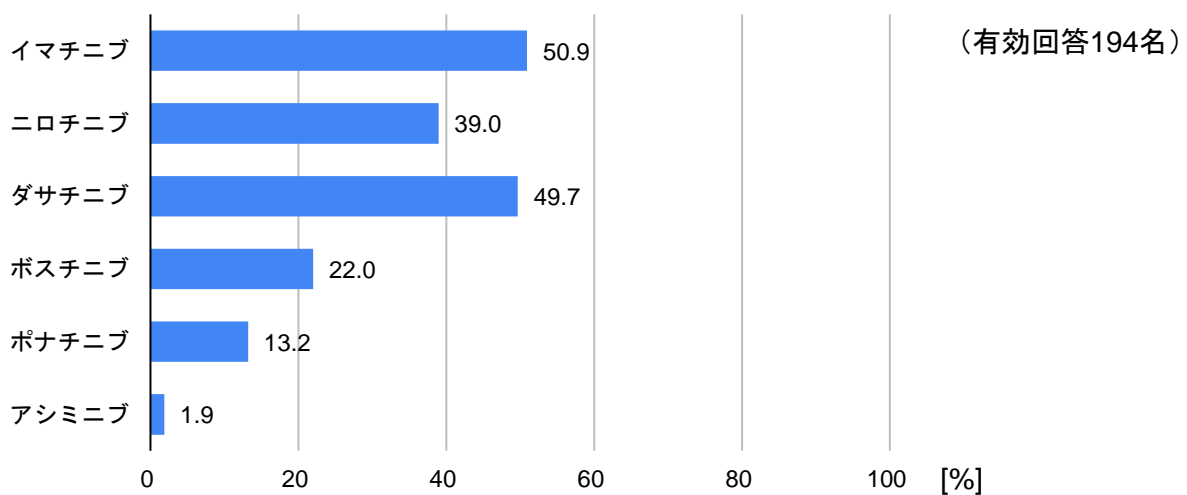


6. TKIを服薬指導したことがありますか。

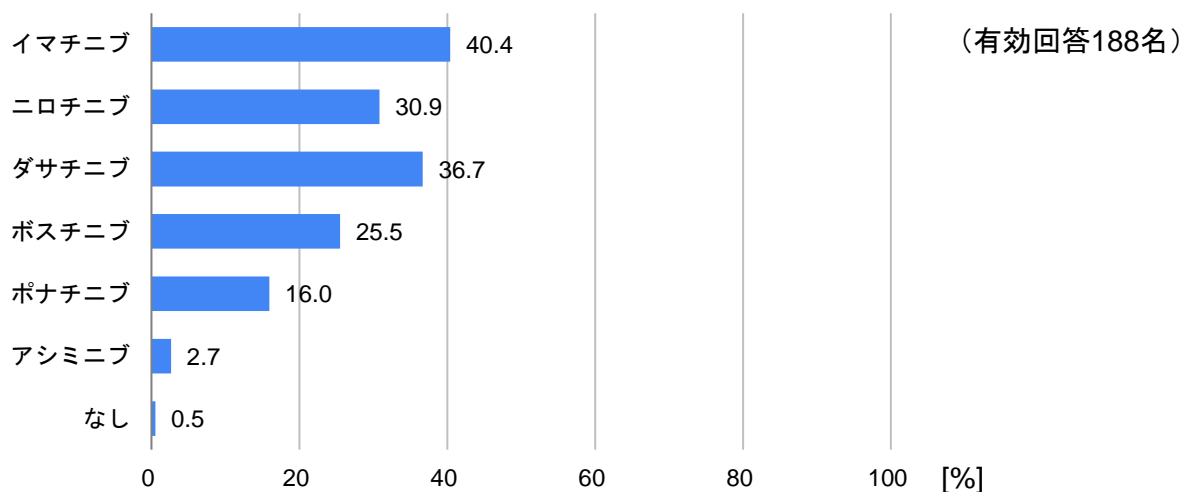


【6. で「ある」と回答された方】

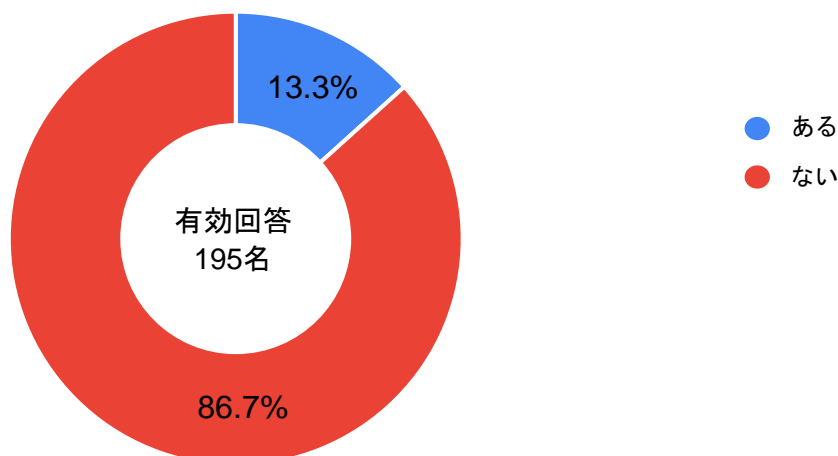
7. どのTKIを服薬指導したことがありますか。（複数回答可）



8. お勤め先で扱っているTKIIはなんですか。（複数回答可）



9. CML患者について病院と連携をとって対応をしたことがありますか。  
(病院に問い合わせやフィードバックをしたことがありますか)



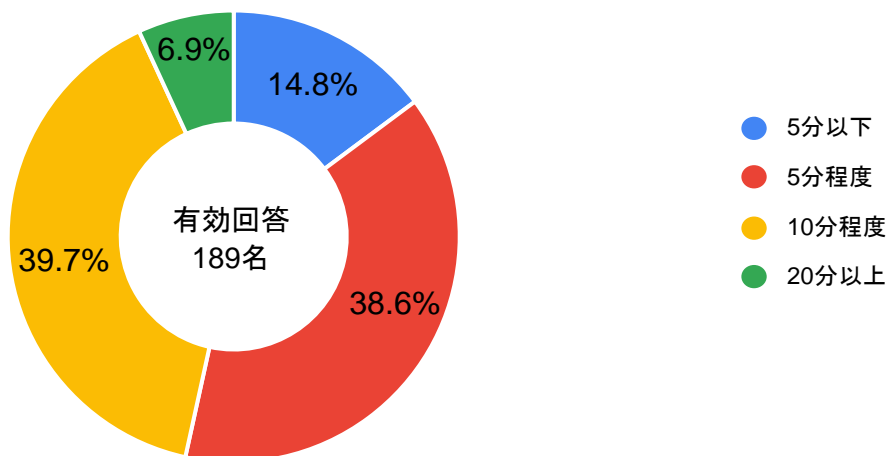
【9. で「ある」と回答された方】

10. それは、どのようなことについてでしたか。

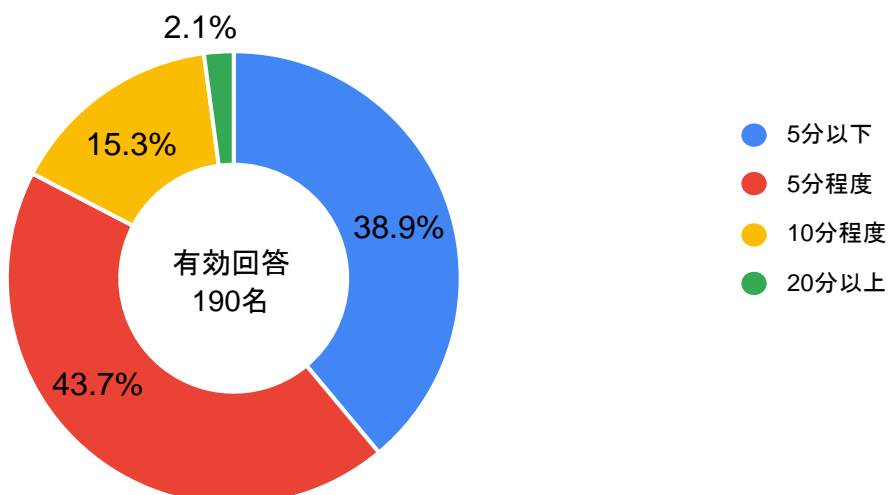
- ・ かかりつけの患者様がイマチニブを10年服用していて医師より第三世代に変更を言われてイマチニブを初回服用時の副作用がひどく本人は変更を悩んでおり相談される。数値的には寛解状態ではあったこと、最近血糖コントロールが出来ていないこともあり本人の不安も大きく処方医へ相談。初期時にPCRが0になり、休薬していたらまた数値が上がったことまだ50代ということ数値を0にしたいという意思の処方意図があったため次回変更を検討している。
- ・ 電話フォローアップを行い、患者の症状を病院に情報提供
- ・ 用法用量について
- ・ 疑義照会で、患者希望で、イマチニブの「筋肉痛時」使用の漢方薬のキャンセル
- ・ ボスチニブ服用患者に他科でPPIが処方されたため疑義紹介(→PPIは処方変更)
- ・ CML患者様の日常生活の注意点、医療費に関する相談、治療継続の不安や悩みについて
- ・ 服薬指導後の電話フォロー
- ・ 服用開始時の保険薬局の、在庫の調整、発熱時の対応等
- ・ 副作用報告や支持療法の提案など。

- ・ 副作用の報告
- ・ 副作用報告
- ・ 副作用の有無など服用後のテレフォニフォローアップしてから得た情報を先生に情報共有しました。
- ・ 帯状疱疹の予防で少量の抗ウイルス剤を定期服用していたが、帯状疱疹にかかってしまい、別の皮膚科で帯状疱疹の治療薬が処方された。CMLの主治医に経緯を説明し、定期の抗ウイルス剤と併用するかを確認した。
- ・ 相互作用 服用時点
- ・ 副作用についてのトレーシングレポート、相互作用に関する疑義紹介
- ・ 副作用
- ・ 用量や副作用など
- ・ 相互作用について PPI服用
- ・ 関節痛 浮腫み
- ・ 相互作用 採血データ
- ・ 有害事象について
- ・ 副作用の発現に関して。
- ・ 服用後の副作用症状有無等のトレーシングレポート提出
- ・ 下痢が治まらない。 普通に戻っても多便症

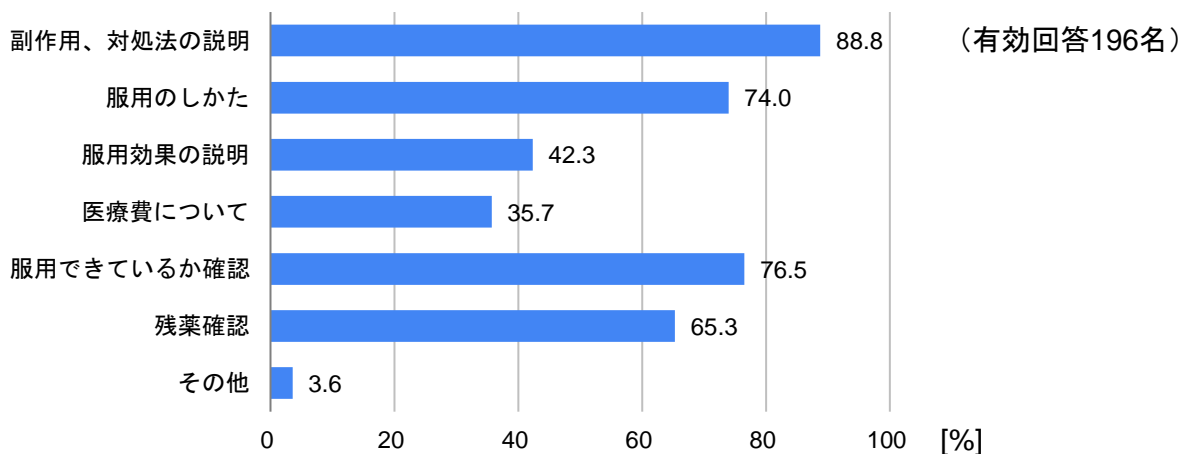
11. CML患者さんへの服薬指導の時間について教えてください。  
[初回の対応]



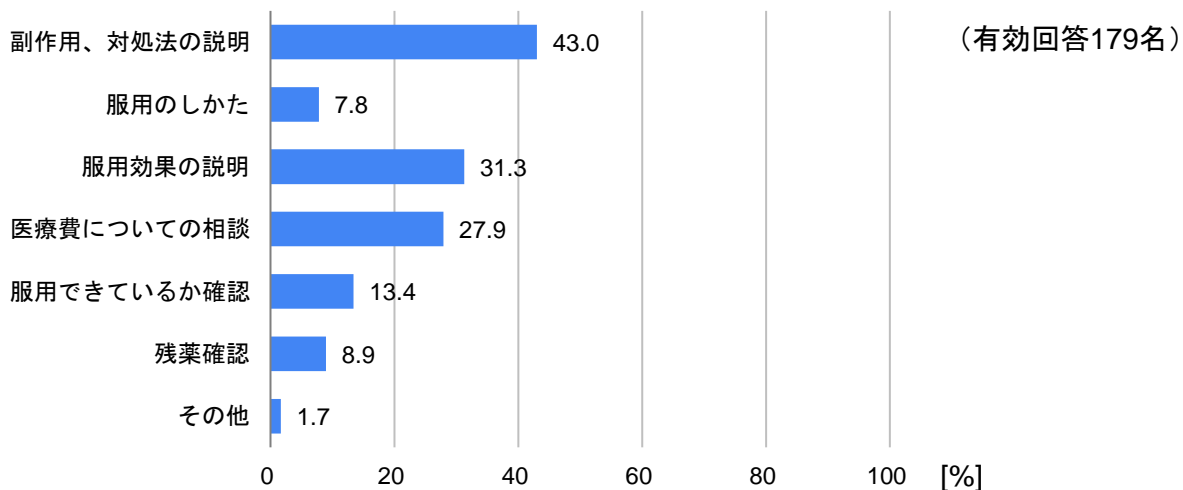
12. CML患者さんへの服薬指導の時間について教えてください。  
[2回目以降の対応]



13. CML患者さんへの服薬指導で何について話されていますか。（複数回答可）



14. CML患者さんへの服薬指導で困ったことは何ですか。（複数回答可）

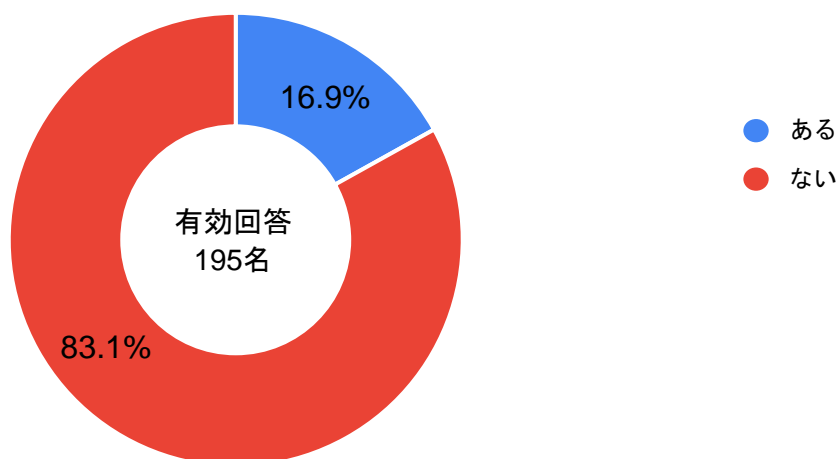


【14. で「その他」と回答された方】

15. 具体的に服薬指導で困ったことを教えてください。

- ・ ニロチニブの空腹時服用について、イマチニブの副作用（胸水貯留、大腸炎など）
- ・ 保険切り替え中の対応
- ・ 知識不足で踏み込んで質問できない
- ・ 患者様の病識があまりないため説明をきいてくれない
- ・ 自己負担金の負担が大きく継続処方できない可能性があり説得に時間かかった、一元管理の重要性を理解していただく事
- ・ 予後について
- ・ 認知機能低下
- ・ 高額
- ・ 処方医師の説明と内容が乖離しないようにしたいが、調剤薬局では処方医師の説明内容がわからない
- ・ 医師が答えるべき内容を薬局で聞いてくる。医師の言っていることがわからないから、調べて教えてほしい。
- ・ 月経が止まった。更年期というにはにはお若く、出産希望あり。

16. CML 患者さんから、医師の診察の際に伝え忘れていたことや伝えにくくて言えなかったことをあなたに相談されたことはありますか。



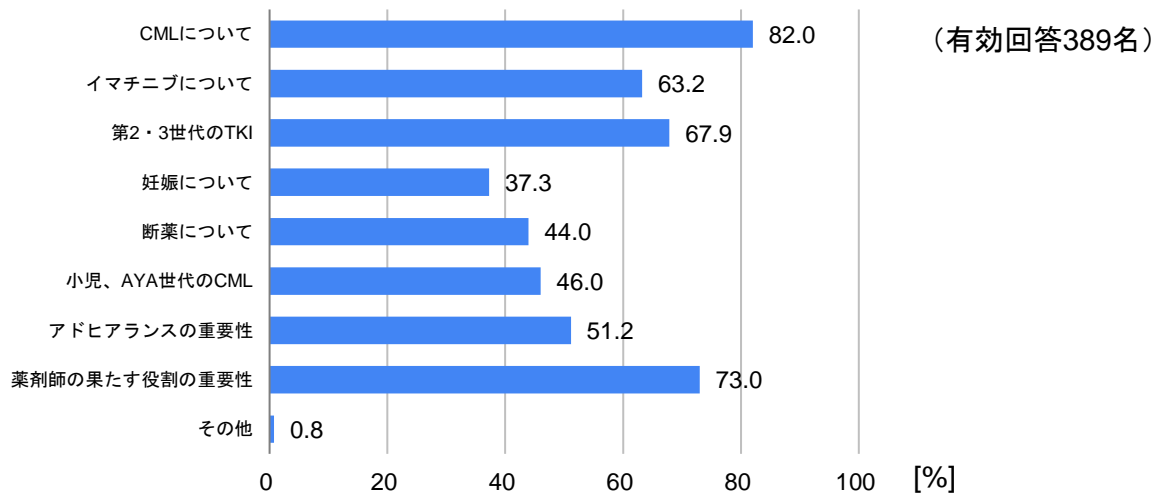
【16. で「ある」と回答された方】

17. それはどのような相談でしたか。

- ・ 腹痛の様子など細かな表現
- ・ 新薬への移行について、副作用発現について
- ・ 金額について、いつまで継続するのか
- ・ 残薬について
- ・ 患者自身が言い出せず、患者家族から相談を受けている。
- ・ 飲み忘れの残薬、皮疹や脱毛など見える部分の副作用、検査結果の詳しい説明
- ・ 副作用の事、効果の事、検査の事、Drへの信頼関係
- ・ ジェネリックと先発の違い
- ・ 残薬について
- ・ 治療への不安、他科受診の時に言い忘れ
- ・ 本当に効果があるのか、薬が高価で大変である、など。
- ・ 少し飲み忘れたことがあるなど。
- ・ 医師に対する不満。真摯に対応してもらえない、と。
- ・ 飲み忘れ、残薬数など
- ・ グリベックによる筋肉痛の対処に芍薬甘草湯を処方されていたが、効果がなかったとの自己判断で服用を中止していた。
- ・ 薬が変わった際に、その理由について。薬毎に何が違うのかについて。
- ・ 副作用のこと、余生のこと、治療への不安、今後の人生など
- ・ 金額について
- ・ 追加になった薬を飲みたくない
- ・ 医療費が高く継続して治療できない。
- ・ 自己負担金が家計を圧迫している事
- ・ 副作用状況
- ・ 費用について
- ・ 検査結果について
- ・ 治療費が高額であり、効果があるのは分かるが生活が苦しい。ずっと服用しないといけないのかなど。
- ・ 残薬
- ・ 長期間服用し寛解状態で減薬や中止は可能か？
- ・ 治療効果
- ・ 医師から休薬すると言われたけどやめてよいのか心配
- ・ 副作用が嫌で、実は飲まずに薬を捨てているが、医師には飲んでしていると申告している

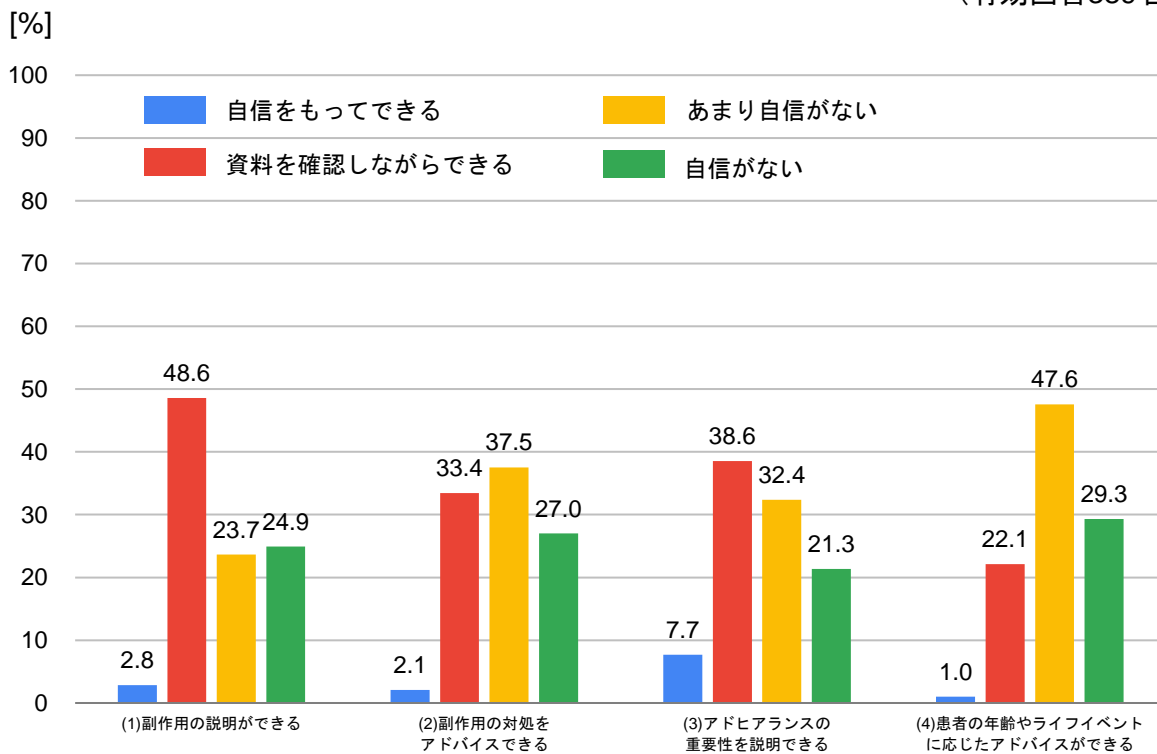
- ・ 骨髄穿刺後の遺伝子検査の結果を見せられて医師の言ったことは理解できない。教えてほしい。
- ・ 寛解導入後の諸々。

18. 今回のプログラムを通して知りたいことはなんですか。（複数回答可）



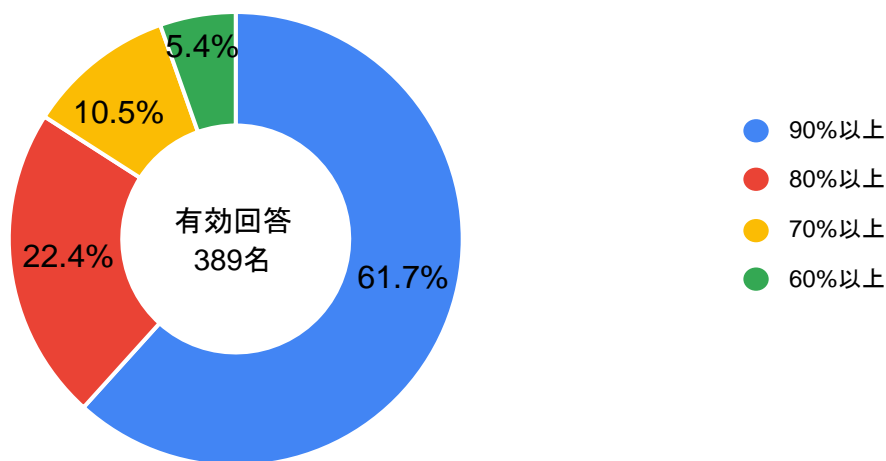
19. いま、CML患者に対応することがあれば、どの程度自信を持って対応できますか。

(有効回答389名)





20. TKIの治療効果を確実に得られる服薬率は下記のうちどれだと思われますか。

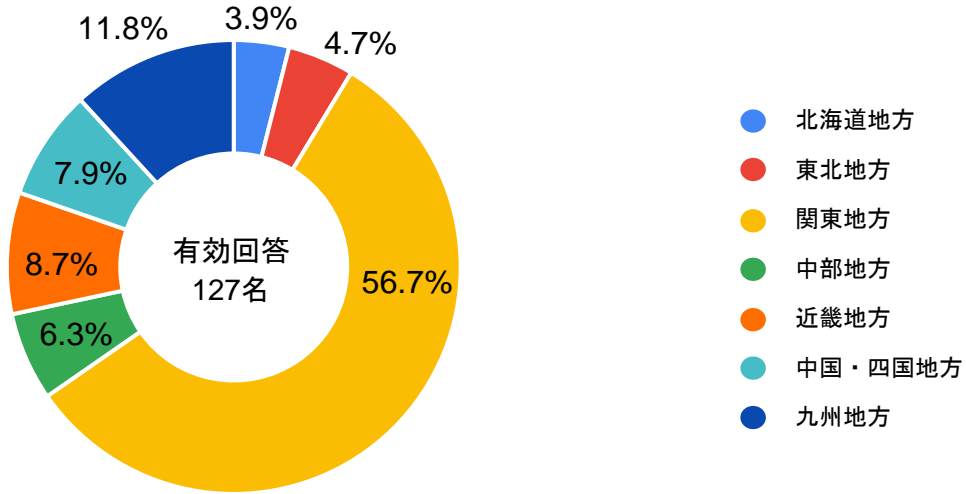


21. (CML患者さんを診ている) 医師への要望があればお書きください。

- ・ 薬局にしてほしいフォローアップの内容を教えてください
- ・ 副作用が出た際にどのくらいの重症度であれば治療継続できないか教えてください
- ・ 血液癌については専門用語が特に必要になりますが、患者さんは意外にネットなどで調べてくるので、地域の医療連やセカンドオピニオンについて聞かれると困ることがあります。地域連携の状態がわかりやすくなっていると良いと思われまます。
- ・ 現在の症状についての丁寧な説明
- ・ 患者さんの最終目標や希望を薬剤師も知りたい。
- ・ 薬局と連携を取っていただきたい
- ・ 高額療養費、多数回該当
- ・ 勉強してなかったので、いい機会に勉強させて頂きました。
- ・ 検査、服用効果、継続服用、減薬など色々
- ・ 箱出し調剤の徹底（端数が生じる残薬調整はできる限り避けてほしい）
- ・ 何年続けてのめば良いかについて、患者さんとどのくらいお話されているか伺いたいです。
- ・ 治療効果の判定をどのように行っているのか知らなかったり報告されていない患者様へ具体的に伝えていただくと助かります。（何かをみて）「いいですね」と言っていましたという声をよく聞きますので。検査値を見せてもらいますが、それだけではどこを目標に治療継続していくのかわからないことがあります。
- ・ CMLの患者さんも、医師にしっかり対応頂きたいようです。
- ・ 薬局薬剤師に期待すること
- ・ 薬剤師にやってほしいことをおしえてください
- ・ 患者情報の開示
- ・ 白血病にも型がいっぱいあり、治療法は血液検査結果で絞られているのかなとか知識不足情報不足で患者さんに聞いてもいいのかすらわかりません。
- ・ 病名とか治療方針に沿って服薬指導したいので、それらがわかるようにしてほしい
- ・ 患者の家計状況も考慮して欲しい。
- ・ 費用について、しっかりと伝えて欲しい。
- ・ 退院時のカンファレンスへ連携室を通して声掛けして貰えると薬剤の用意がスムーズに行えますのでご検討頂けると嬉しいです（ZOOMなど使用して貰えると助かります）。また、薬局側への要望も教えて貰えるとありがたいです。
- ・ 副作用に対する処方をするのであれば、次の診察まで持つ量の薬を出してあげて欲しい。（アイクルシング服用中で肌が乾燥しヒルドイドが出たが次回まで持たず、皮膚の状態が悪化したことがあった）
- ・ 血液検査の結果や他検査の結果を教えてください
- ・ 寛解時の治療継続の必要性の説明を反復して説明して欲しい。

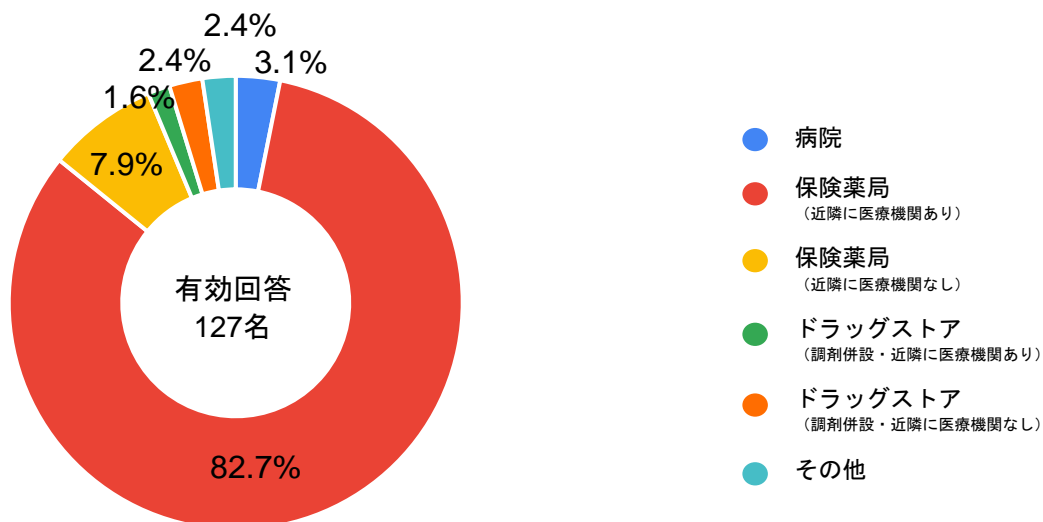
**動画視聴後アンケート結果 (n=127)**

1. お勤め先の所在地を教えてください。



| [名]   |      |      |         |      |   |
|-------|------|------|---------|------|---|
| 北海道地方 | 北海道  | 5    | 近畿地方    | 三重県  | 2 |
| 東北地方  | 青森県  | 0    | 中国・四国地方 | 滋賀県  | 2 |
|       | 岩手県  | 0    |         | 京都府  | 1 |
|       | 秋田県  | 0    |         | 大阪府  | 2 |
|       | 宮城県  | 3    |         | 兵庫県  | 2 |
|       | 山形県  | 1    |         | 奈良県  | 1 |
|       | 福島県  | 2    |         | 和歌山県 | 1 |
| 関東地方  | 茨城県  | 4    | 九州地方    | 鳥取県  | 1 |
|       | 栃木県  | 4    |         | 島根県  | 0 |
|       | 群馬県  | 1    |         | 岡山県  | 1 |
|       | 埼玉県  | 30   |         | 広島県  | 0 |
|       | 千葉県  | 4    |         | 山口県  | 2 |
|       | 東京都  | 13   |         | 香川県  | 2 |
|       | 神奈川県 | 16   |         | 愛媛県  | 2 |
| 中部地方  | 山梨県  | 0    |         | 徳島県  | 1 |
|       | 長野県  | 3    |         | 高知県  | 1 |
|       | 新潟県  | 1    |         | 福岡県  | 5 |
|       | 富山県  | 0    |         | 佐賀県  | 3 |
|       | 石川県  | 1    |         | 長崎県  | 1 |
|       | 福井県  | 1    |         | 熊本県  | 1 |
|       | 静岡県  | 1    |         | 大分県  | 0 |
|       | 愛知県  | 1    | 宮崎県     | 0    |   |
| 岐阜県   | 0    | 鹿児島県 | 1       |      |   |
|       |      |      | 沖縄県     | 4    |   |

## 2. お勤め先を教えてください。



## 3. 薬剤師からのメッセージをご覧になった感想をお聞かせください。

- ・ 大変勉強になりました！
- ・ 水先生のお話はとても役立ちます。患者様が薬局にて処方箋を見て、それからどうする、を慌てる前に知っておくことができます。
- ・ わかりやすくなった
- ・ 講演内容を拝聴し、医療費や薬剤切り替えについては、患者さんにとってははじめてのケースであることが多いので、このようなことを丁寧に説明できるようになったほうが良いと感じました。
- ・ 患者さんがTKIによるCML治療を継続する上で、不安を解消するための薬剤師が担う役割があり、役割をはたす為最低限知っておくべき知識が整理できた。
- ・ 明らかな知識不足を痛感しました。
- ・ 患者さんの服薬コンプライアンスを上げるためにしっかりと情報提供することの重要性感じた
- ・ 今後のアプローチがしやすくなりました
- ・ 今年度より薬剤師になった者です。実際に患者として闘病されながら薬剤師の仕事をされてる久田様のお話を聞き、いつCMLの患者が来ても対応出来るような心構えと知識が必要なのだと感じました。副作用の聞き取りだけではなく、いつその副作用が起こりやすいかなども記憶に残しつつ、今後の薬剤師人世に活かせたらと考えています。水様のお話では、「10円の薬剤と10000円の薬剤の説明は違うようにして欲しい」という部分が印象深いです。今までの投薬では薬価などはあまり気にできていませんでしたが、患者の負担を頂いている身として、これからの投薬では薬価の面も気にかけていきたいと思えました。
- ・ その前の講義を受けてからだったので略語が分かったり治療戦略が分かっていたのであまり意味はないかもと感じてしまった
- ・ まずは声掛けが大事と感じた
- ・ 薬剤変更の理由など、知識があれば患者様との会話や薬歴記載がスムーズになることを再確認できました。
- ・ CMLはあまり知識がなく、大変参考になりました
- ・ これまでTKIを含む抗がん剤の使用患者さんへの服薬指導に携わることがなかったが今回の動画を視聴してすこしずつでもCMLへの理解を深め患者さんの指導に携わっていきたい。
- ・ 改めて勉強になりました。
- ・ 患者さんの不安解消の手助けができるように、対応していきたいと思いました。具体的な話が聞けてヒントになりました。

- ・ 今後CMLの患者さんに対するときの対応の参考になりました。
- ・ 患者一人一人に向き合い寄り添っていくことを意識していこうと思えた。
- ・ 25年近く前、大学卒業後に勤めた病院で小児の白血病患者さんがいらっしゃいました。まだ病棟活動などない時代で、直接会ったことはありませんし、薬もロイケリン散しかない上に、小児の血中濃度もよく分からず手探りだったように思います。3年ほどで結婚退職をし、そのまま長く現場から離れました。仕事復帰後も白血病患者さんに関わったことはいっさいありません。今回の勉強で、Drに現場の状況を教えていただいたこと、薬剤師には薬剤師の関わり方があることを知り、すごく勉強になりました。長く付き合いなくてはならない病気だからこそ、副作用でリタイアしないようサポートすること、妊娠などのライフステージに寄り添うこと、経済的なアドバイスができること、いろいろな関わり方があるのだなと思いました。お話の中にもあった薬が変わった時に「今までの治療は無駄ではない。薬が効かなくなるタイミングが来てしまうことがある」これを私は言えるかな、これは一緒に頑張ってきた薬剤師にしか言えないなと思いました。今後白血病患者さんに関わることがあるかどうかはわかりませんが、日々患者さんに寄り添い、信頼される薬剤師になれるよう頑張ろうと思いました。今回、このような形で勉強する機会を与えてくださったことに感謝します。ありがとうございました。
- ・ すごくよかった。明日からの対応に役立てたい。
- ・ 血液がんの患者様が薬局を利用なさることがほとんどないため、どのような副作用が出やすいか、どのようなサポートができるか、よくわかっていなかった。薬剤師からのメッセージの中で具体的に示していただいたので、患者様が必要と思っているサポートがイメージできると思う。
- ・ 患者の具体的な悩みがよく理解できた。高額療養費制度とジェネリック医薬品の落とし穴については注意を払いたい。
- ・ CMLによるTKIを継続内服中の服薬指導の参考になった
- ・ どんな病気でも患者さまにより近いところにいる薬剤師にできることがまだまだある、と再確認させられました。
- ・ 具体的にどのように患者さんに声をかけていけばよいか、非常に参考になりました。
- ・ 今まで慢性骨髄性白血病の患者さまに対応した事がなかったが、同じ薬剤師でもこんなに頑張っている人がいることは刺激になった
- ・ CML治療における継続的な服用の意義と副作用の早期発見には薬剤師の担う役割は大きいと感じました。実践の中で活かしたいと思うメッセージだと感じました。
- ・ 患者さんと身近で接されている方から患者さんへの具体的な指導方法やフォローなどを聞いて大変参考になりました。
- ・ 患者の立場から求める薬剤師の在り方を示していただき、勉強になります。
- ・ 副作用のことを強調しすぎると怖がって飲んでくれないケースもあるので、表情などを観察しながら必要な指導をしていきたいと思った。
- ・ 患者様が治療を継続していけるように薬局でのサポートの必要性を感じました。特に抗がん剤治療は副作用や費用等、患者様自身の負担が大きいいため、少しでも負担を減らせるよう、自分自身も知識を身に付けていかなければならないと感じました。
- ・ 患者さんの長期服用継続、薬品変更時の不安なども含めて、すこしでもできる範囲から声掛けできて不安な気持ちが、少しでも取り除くことができればと思いました。
- ・ 出来ることからする、はじめは少しずつが大事と思った
- ・ 同じ職種にて、わかりやすかったです。
- ・ 症例数の少ない疾患ですが、薬剤師がフォローすることで、確実に患者さんのQOLが上がると感じました。
- ・ 患者さん自身が自己学習されていること
- ・ とても良かったです
- ・ 患者の立場から病気や薬と向き合う現実、寄り添うためのコツたくさん参考になりました。おふた方の薬剤師愛が伝わってきました。このような医療講演に薬剤師からのお話があると、さらに深く学べると思います。一通り聞いて、薬剤師の話聞いて、再度医師の説明を聞くと染み込んできます。職場の仲間にこのプロジェクトのこと紹介しました。どこまで見てくれるかなあ。このプロジェクトの成功をお祈りいたします。
- ・ 薬剤師の役割が重要であることを改めて考えさせられました。

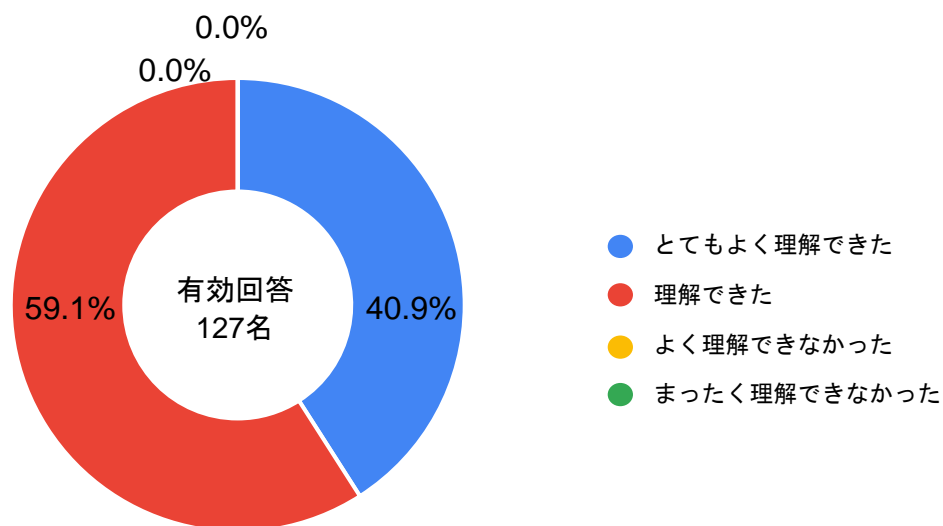
- ・ 患者さんの苦勞、現状を知らなかつと事を認識した。
- ・ 久田先生の話は自身が経験したことを踏まえての話だったので大変貴重なお話だった。
- ・ 現場での対応を具体的に言ってもらい、参考になりました。
- ・ 患者の状態や気持ちを理解する事、医師との関係性も理解する必要性が重要である旨は当然の事ながら再度確認させられた
- ・ 色々なポイントがまとめられていて、とても良かったです。
- ・ 副作用についてはどちらかと言うとあるであろうと思いながら寄り添えてませんでした。保湿だったり、整腸剤の提案、紫斑できないように皮膚のテープなど軽度の副作用であればQOLをあげるお手伝いが出来ると感じました。それがコンプライアンスを上げ治療効果を上げることと改めて学ぶことが出来ました。ありがとうございました。
- ・ 真摯に取り組んでいらっしゃる姿を見て、私も知識を増やして適切な情報提供、相談にのれるようになりたいと改めて感じました。
- ・ CMLを経験された先生のグリベック有害事象のお話は、とても役に立った。
- ・ 治療に用いられる薬剤の違いだけではなく、患者さんへのフォローの仕方を学ぶことができた。現在CMLではなくGISTでグリベックを服用している患者さんがおりますが、副作用モニタリングやアドヒアランスの確認などチェックすべき点は共通であるため、今回拝聴した内容を今後の業務活用できればと思います。
- ・ 患者さんの気持ちに寄り添った服薬支援を続けていきたいと感じました
- ・ 薬剤師としての患者に対応するうえで参考になった。
- ・ 投薬時に活かせる内容で、すぐに役立つポイントが、とてもありがたい内容でした。
- ・ IS,BML,MR4.5,DERなどを把握しなければならない
- ・ 指導上の要点など具体的に示されていて非常に役に立った
- ・ 長期に渡る治療への不安、副作用に対する不安、医療費に対する不安、日常生活の制限への不安、TFRへの期待等を考慮しながら患者さんに対応する必要があると感じた。
- ・ 普段、(CML以外の)患者さんに行っていることと変わらないなと思いました。
- ・ 薬剤師もこのような難病に対してここまで介入できることがすごいと思った
- ・ 実際にCMLの患者様に出会ったことはなく、自身も患者である薬剤師の意見や実際の薬歴の例等実地で参考になる内容だと感じた。
- ・ 患者様がどういった悩みを持っているのかを知る事ができ良かった。
- ・ できることを少しずつとのことで肩の力が少し抜けたように思います。
- ・ 患者の立場を考える寄り添える薬剤師は重要と感じました。
- ・ 普段あまり触れることの無い疾患で、知識が不足している領域でしたが、理解が深まりました。
- ・ なかなか患者さん側の気持ちを聞くことができないので参考になりました。CMLの患者さんが来局された際は、相談に乗ったりアドバイスができるようにしていきたいと思えます。
- ・ 今まで、イマチニブはJGをお渡ししてきたが、90日処方で、患者負担が高かった可能性を感じた。入荷状況にもよるが、安いものが入らないか確認し、患者さまにこちらに変更した方が安くなるなど情報提供したい。
- ・ 金額にも理解のある指導をしたいと思うようになった。
- ・ 患者様の知っている情報、薬剤師の知っている情報という考え方が興味深かった。他の疾病でも応用できると思った。
- ・ グレープフルーツの話(グレープフルーツ風味のチューハイなどには考慮してなかったということ。当然グレープフルーツジュースや実の飲んではいけない、食べてはいけないの指導はやった上で)や薬価の安いものと高いものの時の指導に差をつけてほしいは、考えましてませんでした。イマチニブのジェネリックも当薬局扱っておりますが、患者様のためのジェネリックにはなっていない物を扱ってるかもしれないと思い、少し心が痛みました。
- ・ まだ若手のためCML患者さんに実際に指導したことはないが、そのような状況になった時にどのようなことに気を払って指導すべきか大まかに理解することができて良かった。
- ・ 大変勉強になりました。とてもわかりやすかったです。
- ・ 同僚に視聴をすすめたいと思います

- ・ 自己負担金額を改めて確認して、その負担の大きさを再認識した。制度について学び直し、患者さんとの信頼関係構築の第一歩にしたいと思う。その上で副作用やアドヒアランスの確認など長期に渡る療養のサポートをしていきたいと感じた。
- ・ 自己負担金の落とし穴は何かしないといけない、他の治療でも同様なことは多い
- ・ 曖昧だった慢性骨髄性白血病について、わかりやすく説明していただき、今後の服薬指導においてとても参考になりました。
- ・ 高額療養費制度の落とし穴は、実際に経験したこともあるので、残薬調整等も含めてより慎重にならなければならないと思いました。
- ・ 患者目線からのお話もあり、非常に参考になった
- ・ 薬剤師として、交付時の服薬説明の際に実際の患者様が抱えている健康上・生活上・経済上の問題を学ぶことができた。公費の制度を含め学習し直す良いきっかけとなった。
- ・ 医師、患者から期待されていることを心に留めないといけないと感じた。
- ・ あまりCML患者に関わることがない薬局も見ると対応しやすくなると感じました。
- ・ 大変勉強になりました
- ・ 希少疾患ではあるが、薬剤師が理解することで患者への理解度の増加につながるため勉強できてよかったと思います。
- ・ アドヒアランス、副作用対策、後発薬選択など、長期的な視点で持続的な介入が重要と感じた。
- ・ もっと早く知りたかった
- ・ 実際の服薬指導での対応の参考になった。
- ・ 特にハードルが高いわけではなく、該当患者に遭遇する確率が低いため、知識や対応方法をスルーしてしまう事が問題と思われる。いつ該当患者を受け持つかはわかりませんので、このような機会が得られた事は幸運と考えます。無理せず基本から患者と一緒に取り組むことが重要と受け止めました。
- ・ 薬学的知識があった上で患者さんの立場に立って寄り添える指導が大事だと思った。
- ・ 薬歴の進め方と患者の対応の仕方のイメージがつけやすくなりました。
- ・ 患者が悩んでいる事項を具体的に知ることができました
- ・ CMLはよく分からず副作用フォローが主となっていましたが、アドヒアランスの向上が治療成績に影響すると学び、より患者様に親身になった対応をしていきたいと感じました。
- ・ CMLの患者さんと接する機会が少ないので、直にやりとりする方の意見が参考になりました。
- ・ 勉強になった。
- ・ 実際に患者さんの立場になったお話が聞けたことがよかったです。
- ・ CML患者の抱えるであろう悩みを患者である久田先生に解説願ったのはとてもよい題材であった。費用負担面を正しく理解する薬剤師は決して多くないと思うので後発品選択の際のポイントがよく理解できた。水先生の患者対応のポイントでは一度にこちらの言いたいことを詰め込むのではなく、患者の思いや悩みを治療段階を踏まえながら想像し、対応することの重要性を再確認した。いずれの先生も患者の側に立った対応の大切さを教えていただいたが、CML患者に限ったことではないので全患者に対し患者の思いをくみ取ったNBMが徹底できるようにしたい。
- ・ デリケートな問題ではあるが、価格面についての説明は重要であると感じた。発現可能性のある副作用についても、事前に説明し対処方法をあらかじめ決めておくことも大事であると感じた。
- ・ 薬剤師が患者の立場に寄り添い、服薬継続をサポートする必要があり、そうすることによってアドヒアランスを上げ、患者の不安も取り除いてあげることが大事だと感じた
- ・ とても分かり易いが、もっと現状の困りごと等の実例に添った説明が欲しいです。現場でのトラブル事例で問題点を理解したいです。
- ・ 体型立てた理解を基に、患者と医師の橋渡しを目指していく姿が調剤薬局の薬剤師には求められていると感じた。
- ・ 特に薬歴の記載内容、記載例が参考になった。普段同僚以外の薬歴を読む機会がないので新たな視点を持って嬉しい
- ・ イマチニブの副作用相談に関して眼瞼浮腫、筋肉のつりは非常に参考になった

- ・ AYA世代に関しては、経済的な事をどのようにフォローしてあげたらいいのか、とても悩ましく感じました。
- ・ 副作用と患者のCP維持、効果に対する不安を重点としてケアしていこうと思いました。
- ・ 薬のことはもちろんですが、経済的負担も視野に入れたうえでの説明の重要性を感じました。
- ・ 実体験を元にお話ししてくださったのは有り難かった。薬歴の書き方も勉強になりました。
- ・ 治療効果を発揮させるため、副作用対策や服用タイミングなど、薬剤師としての介入がいかに重要かが分かりました。
- ・ 役に立つ情報だと思いました
- ・ もし担当したら、という仮定での学びに寄り添っていただいた内容でした。勉強になりました。
- ・ 今後の参考になりました
- ・ 患者対方法の具体例が知れて勉強になった。
- ・ 薬を飲み続けることに伴う、身体的な影響だけでなく、心理的、経済的な負担にも常に配慮が必要であることが再認識できました。
- ・ 実際に患者様に向き合うときのサポートについて参考になった
- ・ 私も自己研鑽を続けて患者・家族に信頼して頂けるように頑張りたい
- ・ 久田邦博先生に教えて頂いた下痢止めの話は今でも覚えており、下痢の止まらないいろいろな疾患で患者様に教えては喜んで頂いています。患者さんが薬剤師に期待する点に関しても先生のおっしゃる通りで、今回、●●製薬の●●様にこの動画の存在を教えて頂き、患者様にいろいろな話を説明できそうです。お金を払って行う生涯学習研修よりこちらの動画の方が充実しており良い勉強になりました。

#### 4. 今回のプログラムで以下についての理解が深まりましたか？

##### 4-1. 慢性骨髄性白血病（CML）の疾患について

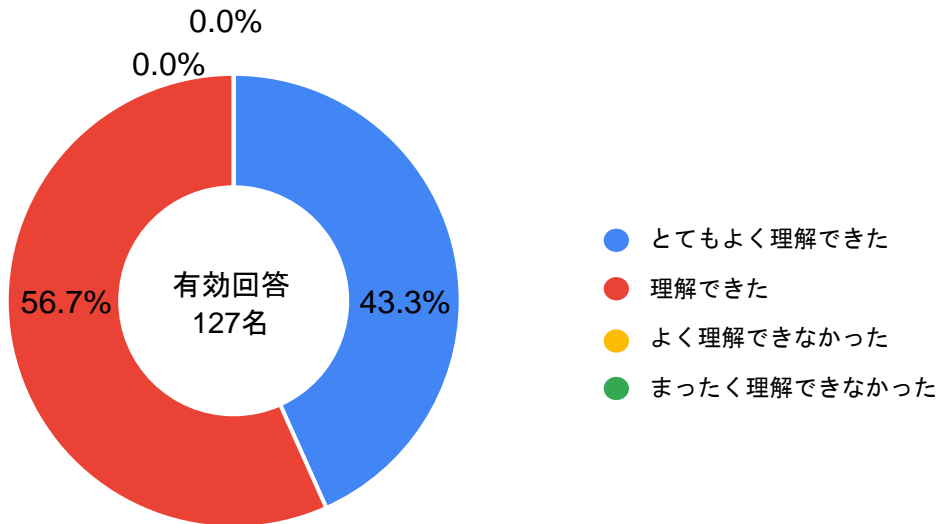


慢性骨髄性白血病（CML）の疾患について、「よく理解できなかった」「まったく理解できなかった」と回答された方、どのようなことが理解するのが難しかったですか？また疑問点があればお書きください。

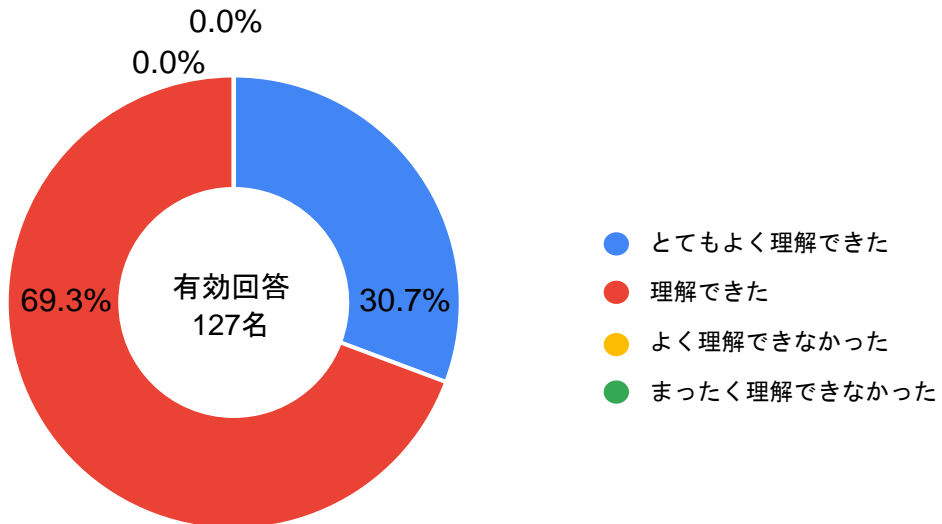
- ・ 幹細胞移植を選択するケースや位置づけを知りたい
- ・ 休薬について



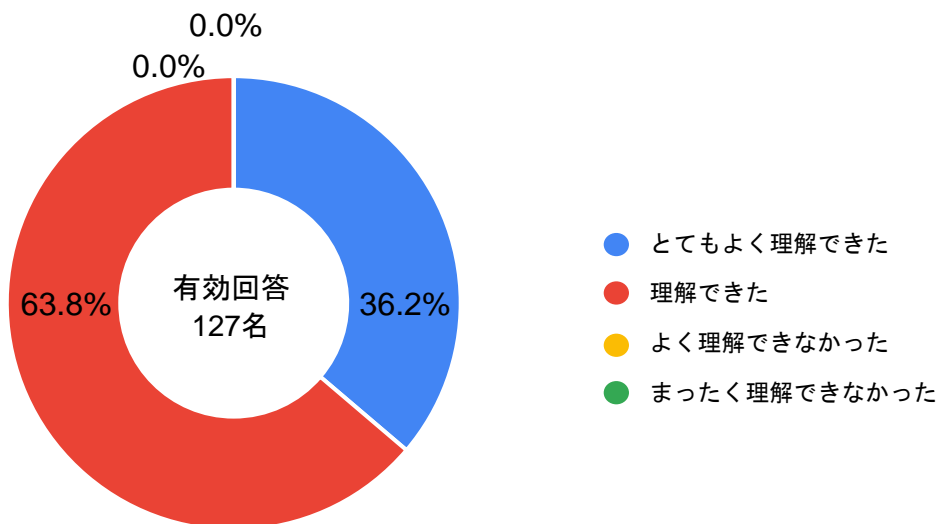
4-2. イマチニブについて（副作用も含む）



4-3. 第2世代・第3世代のTKIについて（副作用も含む）

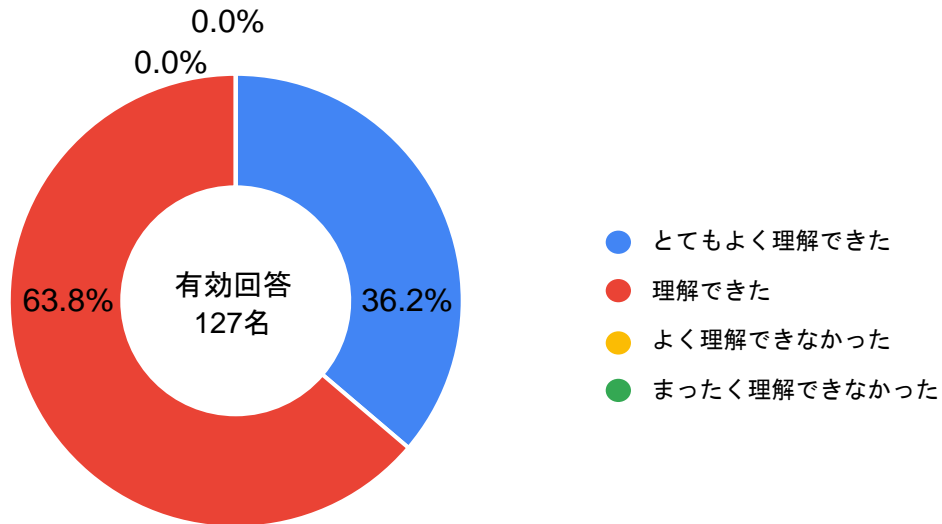


4-4. 妊娠について





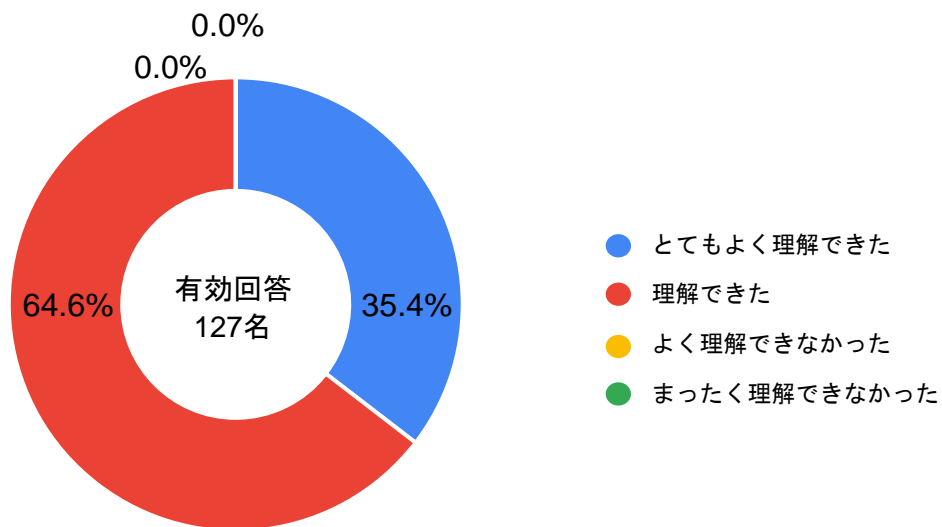
#### 4-5. 断薬について



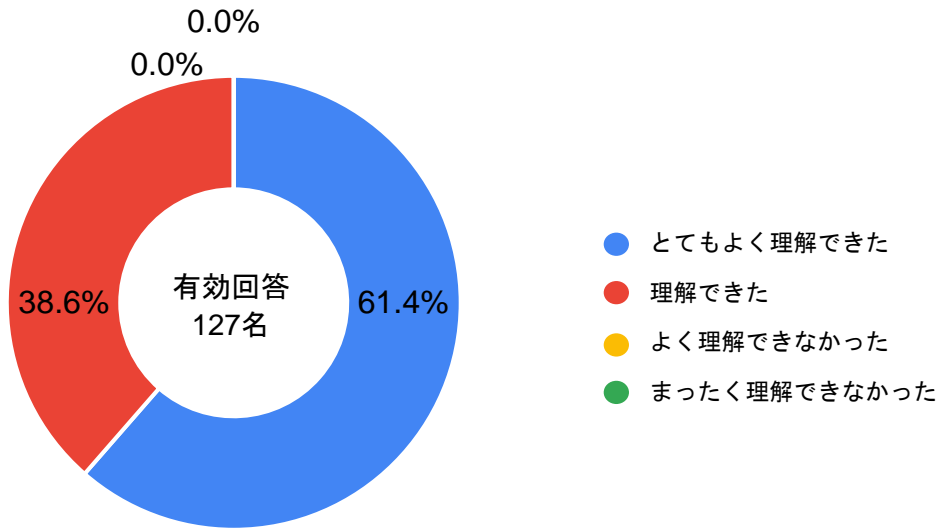
断薬について、「よく理解できなかった」「まったく理解できなかった」と回答された方、どのようなことが理解するのが難しかったですか？また、疑問点があればお書きください。

- ・ 今後治療薬の進歩で中止例が増えるといいと思います。

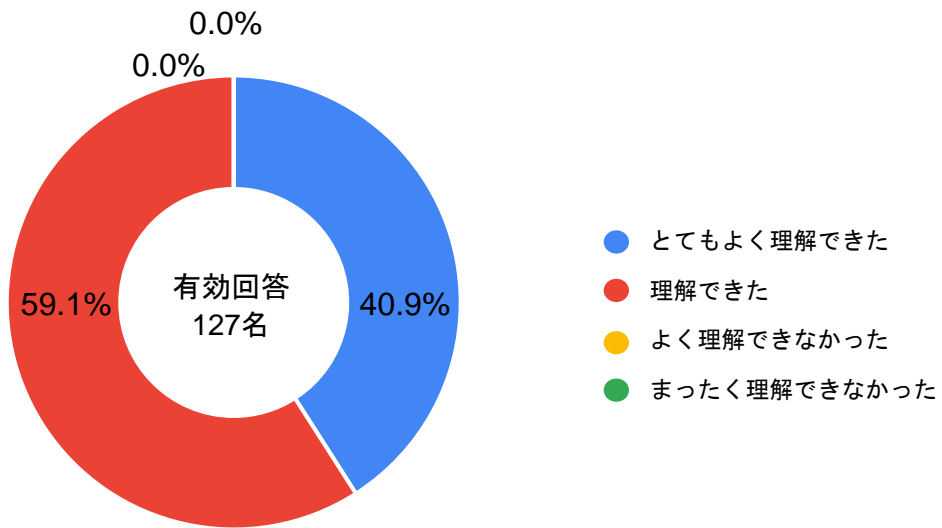
#### 4-6. 小児、AYA世代のCML患者について



4-7. CML患者にとってのアドヒアランスの重要性

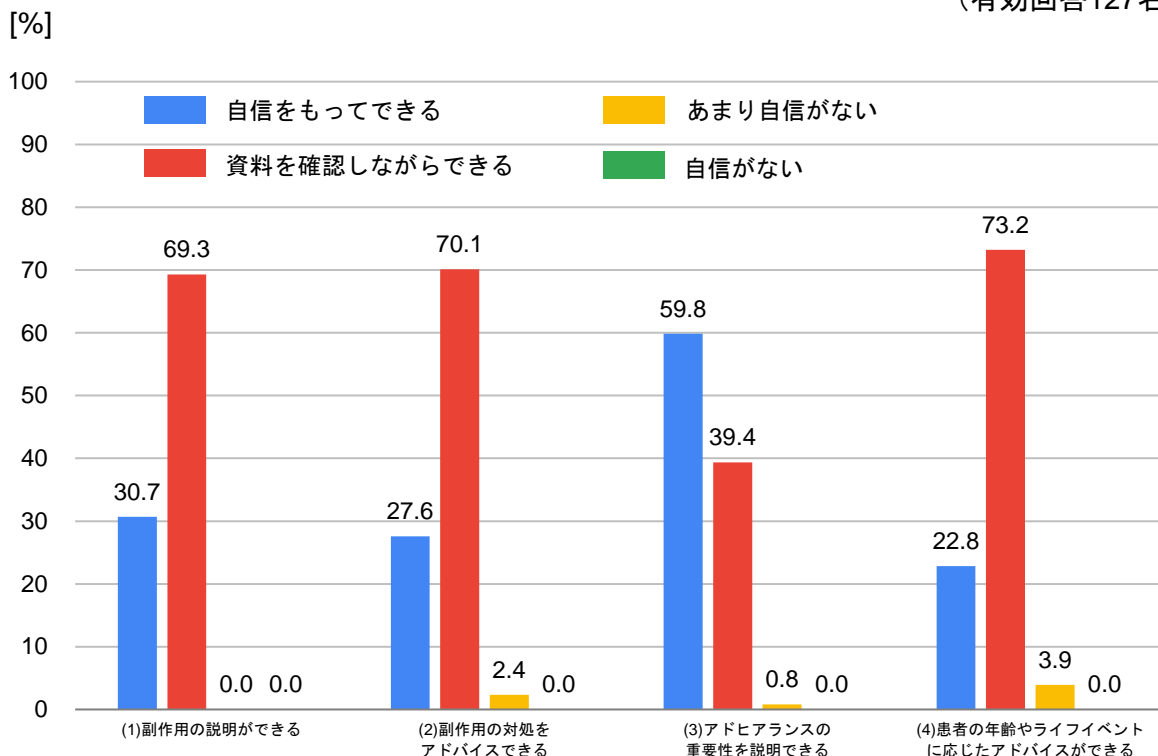


4-8. CML患者に対する薬剤師の果たす役割の重要性について

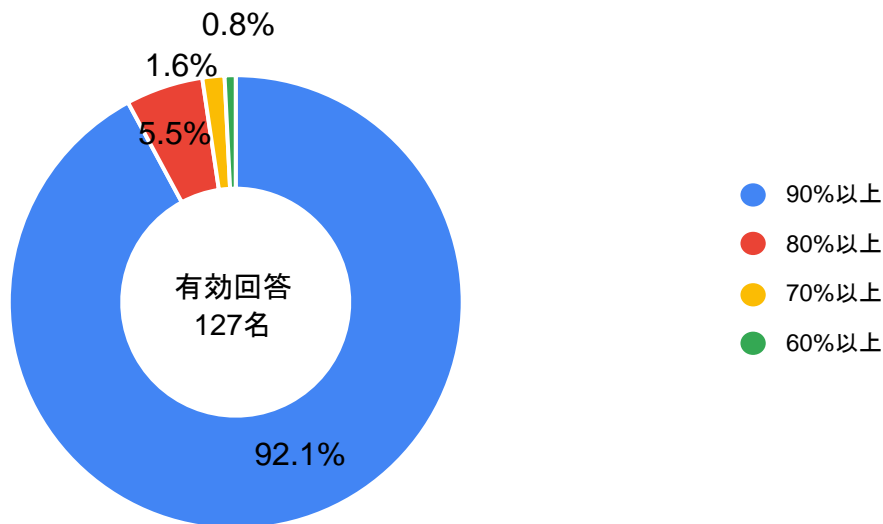


5. 今後、CML患者に対応することがあれば、どの程度自信を持って対応できますか。

(有効回答127名)



6. TKIの治療効果を確実に得られる服薬率は下記のうちどれだと思われますか。



7. 今回のプログラムについて感想やご質問があればお聞かせください（一番印象に残ったことなど）。

- ・ 非常に充実した内容でした。
- ・ AYA世代の治療に携わる確率は低いが今回学習してよかったと思います。
- ・ イマチニブの効果はある程度知っていたが、最新の情報まであまり知らなかったのが良い機会となった。寛解率や予後についてもよく理解することができたが、講演内容が重なる部分が多かったため、CML病態の基礎や、その他の薬剤を含めた基本的処方などを勉強するパートがあっても良いと感じました。
- ・ CMLはたった一つの遺伝子異常によって発症し、7割が血液検査で偶然見つかること。

- ・ 今までもYouTubeで白血病について見たことがあり、木村先生の動画も見る機会がありました。今回のような企画で質の良い情報を提供してくださりありがとうございます。
- ・ 改善する確率がすごくあがっていること
- ・ CML患者様に対する服薬指導の重要性
- ・ 大学では講義スタイルの知識ベースでCMLを学んだが、臨床の場ではどういう考えがあるのかが知ることが出来、有意義な時間となった
- ・ このような機会がなければCMLの治療戦略や薬剤知識が乏しかったのでとても良いと感じました。
- ・ 患者様視点で気になる副作用を知ることができました。患者様に寄り添うためにとても大切なことだと感じました。
- ・ イマチニブ週に1回飲み忘れただけで効きが悪くなるというデータが印象的でした
- ・ 医師の方々が薬剤師の介入で治療効果の改善を期待できると思っていただけでいる点がうれしく感じた。また、それに恥じないよう学び続けようと思った。
- ・ 体系的でわかりやすかったです。
- ・ 薬代が高いのが、続けていくのにとってもネックになる
- ・ 若い女性の場合は妊娠することまで考えて治療戦略を立てていることに治療の進歩を感じ、感激しました。
- ・ すごく勉強になった。これからも配信をお願いしたい。
- ・ TKIの中止についてはまだ臨床試験レベルであり、中止しても再発してまた服用することになる患者様が多く、中止したままでいられる方は全体の1割程度と少ないことが印象的だった。また、小児であっても罹患することがあり、重症が多いということも学んだ。
- ・ AYA世代のCMLについて
- ・ 薬を将来的になしで過ごせる方の割合が思っていたよりも少なかったです。また、長年飲んでいて副作用に慣れるわけではなく、どうしたら少し楽に過ごせるかということもCMLサバイバーの先生がお話していたのが印象的です。
- ・ 想像していた以上にきちんと治療した場合の生存率が高いことが印象的だった
- ・ CMLについては患者と普段接する機会が少なく、病態についても国家試験レベルでしか覚えていませんでした。そのため今回のようなCMLの病態、薬剤の知識、その他患者背景に対する対処の仕方など医師や薬剤師それぞれの目線から講演を聞いたことは大変意義深いことだと思いました。今後は患者さんが急に来局されても学んだ知識をもとに最低限の指導はできるのではないかと思います。
- ・ 第3世代、新薬の情報が有益だった。
- ・ 妊娠や断薬についてが興味深かったです。若い世代での罹患率が1-2割ほどと知り、お子さんを希望される方もその中には多くいらっしゃるはずですが、妊娠するためには治療の中止が必要であり、中止するためには高い治療効果を得られなければなりません。薬の中止に向けてのサポート、また中止して妊娠、出産までのサポートと私自身は何ができるかを考えさせられました。
- ・ 一から勉強するために受講させてもらいました。とても勉強になり、（疾患）深く理解し、患者さんの気持ちを理解するのも大切なことなんだと、改めて思いました。受講させていただき、ありがとうございました。
- ・ 断薬の検討に光が見え始めていること
- ・ 断薬のタイミング。
- ・ アドヒアランスの重要性
- ・ CML患者さんの処方に触れる頻度が少なく自信を持って説明等出来ませんでしたが今回のプログラム参加でとても勉強になりました 特に妊娠のために休薬等は興味深かったです
- ・ 小児、AYA世代とCMLとのこと
- ・ TKIの効果が優れている反面TFRの難しさがある点が今後の課題だと思いました。
- ・ 患者さんの現状や苦勞を知れたことが良かった。
- ・ あまり出会うことのない疾患で勉強するきっかけがなかったので、わかりやすく説明してもらい、さらに詳しく理解するよう努力します。
- ・ TKI世代別の効果や副作用について

- ・ 特に、「患者さんが口にする専門用語」の箇所が印象に残りました。
- ・ TFR達成はそんなに多くないが、特に小児AYA世代には成長への影響も大きくあること妊娠等を考え達成させたいと思った。
- ・ アドヒアランスが重要であること、各薬剤の注意すべき副作用を知ることができたこと。
- ・ CMLに特化したプログラムは、薬剤師にとって深く理解し、患者さんに寄り添えるものだと思います。
- ・ 今までCMLは寛解を維持するために長期に渡り服薬し続ける必要があるという認識でしたが、条件を満たせば一定数は服薬を中止することが可能であるということを知るのは初耳であったため勉強になりました。
- ・ ジェネリック医薬品の薬価の差で、高額療養費制度を利用しても、年間の医療費に違いがでることが衝撃でした
- ・ 医師の方々のお話は、知識不足で難しい部分もありましたが、治療に対してとても理解が深まりました。
- ・ 服薬継続の重要性
- ・ 週1回の服薬不良が治療成績に関わると知ることができて有意義だった
- ・ CMLは分子標的薬の出現により、完治はできなくても悪化は防げる疾患になった。
- ・ 妊娠、小児についてそれぞれ時間をとって1コマずつあったのがよかったです。
- ・ 普段触れることのない内容なので、興味深かった。
- ・ 実際に患者様に出会ったことがない。仕事の中では、実際に多く処方されている薬や来局が多い疾患の知識はアップデートされていくが、普段取り扱いの少ない薬や病気に関しては忘れていってしまう。なので、このように学習する機会を設けてもらえることは有難い。全体的に一部重複する内容もあるため、順番に動画を見るだけで、自然と復習にもなり、定着しやすい構成になっていると思う。
- ・ CMLの患者様への投薬経験があまりなく、凄く勉強になった。
- ・ 疾患の概要から治療の変遷まで理解することができました。Drの話は専門用語が多く、理解できていないところは振り返りながら動画を見ることができたので、より深く勉強することができました。
- ・ スプリセルで胸水が溜まり、イマチニブに変更になった患者様を対応しています。TKIによって起こりやすい副作用に差があり、ありがちな症例であったことが理解できました。
- ・ 第2、3世代のTKIの特徴の動画を興味深く拝見しました。
- ・ CMLと移行期や急性期の関係性だったり理解できました。造血器腫瘍がどうもとっつきにくくて、勉強の進まない分野でしたが、詳しく先生方に解説していただいた動画を見ることで、本当に良かったと思います。ジェネリックに関しても落とし穴があるとは思いませんでしたので、今後しっかり考えるべき部分だなとも思いました。
- ・ そもそもCMLの疾患について学んだのは大学の講義くらいなので、改めて現場の医師のわかりやすい解説を聞くことができて良かった。特に臨床現場での薬剤の使い分けについて学べたことが良かった。
- ・ 断薬のための条件にクリアするための難しさを初めて知りました。高齢者へのご対応しかしたことがなかったので、AYA世代の問題点などは大変勉強になりました
- ・ 断薬ができる
- ・ 日常業務でCMLの患者さんに対応する機会がほとんどないため、苦手意識がありましたがどの動画も非常に分かりやすかったです。治療効果を確実に得るために90%以上の服薬率が必要なことが最も印象的でした。
- ・ 他の癌種でも実施して欲しい
- ・ 断薬についての情報が得られたこと
- ・ CMLについての詳しく学ぶ機会がこれまであまりなかったため、非常に勉強になった。特にAYA世代の患者さんには関わる機会が少ないため、貴重なお話が聞けたと思う。
- ・ 妊孕生について。骨髄抑制に関しては学生の時によく習った気がするが、催奇形性に関しては恥ずかしながらあまり重要視していなかった。男性を含め患者さんには伝えづらい分野だが、周知しなければと感じた。
- ・ 大変勉強になりました。

- ・ CMLについて学ぶ機会をいただきありがとうございます。
- ・ 小児とAYA世代の慢性骨髄性白血病については、50代以上の患者と大きく異なる視点で薬学的介入が重要と理解した。
- ・ 分子標的薬として最高の薬
- ・ この20年でCML治療が大きく変わったことがよく理解できた。
- ・ 病気の説明から薬の機序、特徴、そして患者の抱える問題と、順序立てての解説でとても理解しやすかった。実際の薬剤師の言葉も聞けてためになった。
- ・ 小児、AYA世代のCML患者さんと治療について理解できた事。TFRについても理解できた事。
- ・ CMLの生存率がTKIによってこれだけ高い確率で維持されることに驚いた。身近にもお世話になったドクターが60代でこの病気に罹患したが現在でも元気に過ごされていることを体験し、今回の研修動画を視聴することでさらにその意味を理解することができた。それぞれの講師が薬剤師のレベルに合わせてわかりやすく説明いただけたので大変よく理解できました。
- ・ 白血病の分類についても触れて欲しいと思いました
- ・ CML患者の病態、薬剤について、時間をかけて学ぶことができました
- ・ 医学的な面でなくて申し訳ないですが、ジェネリックにした際の医療費が場合によってはより高くなる場合もあること。
- ・ イマチニブの事はある程度知識に入れていたが、第2、第3世代のチロシンキナーゼ阻害薬の事については無知に近かったので勉強になった
- ・ 一つの病態について、ここまでしっかり掘り下げたレクチャーは、ほとんどありません。とても貴重な講演に巡り合えて感謝しております。この後、中上場級と勉強を進められたら嬉しいです。
- ・ 一般的な成人患者の情報だけでなく小児や妊婦の治療について一緒に学べたのがありがたかった
- ・ 治療の段階があること、断薬できることなど 治療法がよくわかり、今回のプログラムはとても大事な勉強をさせていただいたことに感謝しています
- ・ 一度では理解しきれないので、何度か繰り返し見ようと思います。
- ・ 最新のTKIで下痢、食欲低下など経口抗がん剤系の中ではかなり胃腸障害の頻度が高いように思います。体表面積、副作用発現を防ぐために食事量の維持とレシピケアをできて行ければと思います。
- ・ イマチニブを通常服用した場合と1週間飲み忘れた場合での治療効果のグラフは、想像以上に治療効果が激減しており印象的でした。
- ・ 患者へのアプローチの仕方などが参考になった
- ・ 治療結果で休薬できることもあることを知りました。
- ・ 患者さん1人だけです。毎回どのようにアクセスするのか迷っていました。参考になりました。
- ・ 早く深い寛解を目指すことがストップにつながる可能性を高めることを理解し、治療開始時のアドヒアランスをいかに良好にするかが重要になると感じた。
- ・ 丁寧な解説ありがとうございました。患者さんはいろんな不安をもって治療に向き合っている所以我们は患者さんに対して、安心して・前向きに治療にあたってもらえるように努力しなければならぬと思いました
- ・ この動画に出会えたこと、●●製薬の●●さんに感謝しかない。今回のプログラムに関しては、社内で情報共有したいと考えております。かなり分かりやすくできている動画だなと感じました。私が知りたかった情報が全て載っていた。これで患者様の質問にも応えていけそうです。

## 8.CML 患者に対する薬剤師の役割についてどう思いますか。

- ・ 大変重要だと思いました。
- ・ 全て病気の患者様に言えることだが医師だと敷居が高すぎてコミュニケーション取れない方に対して架け橋になることです。

- ・ 重要
- ・ 薬剤師は、よりわかり易い内容で患者さんに説明する必要があるケースが多いのと、TKIについては特に長く飲み続ける必要がある薬剤になるため、服薬指導をしっかりと出来るようになる必要があると考えます。
- ・ アドヒアランスの大切さを理解していただけるよう心掛ける
- ・ 当たり前だがとても重要。今回のプログラムに感謝し日々勉強し、医療費も含めて服薬継続できるようにつとめていきたい。
- ・ 治る疾患になってきているため治療の重要性をしっかりと伝える役割が大事になる
- ・ 患者様に寄り添って、服薬指導などを行うこと、
- ・ 医師は処方や治療計画を立案することがメインとなっているが、そこにアドヒアランスを高めるといふ治療の手助けをするのが薬剤師であるため、1番重要なポジションにいるのではないかと思う
- ・ 金額も考えた長期薬剤治療継続に向けたフォロー 副作用のフォロー
- ・ コンプライアンスの重要性がよくわかりました。コンプライアンス順守のために服用期間中のフォローなど薬局薬剤師に求められる部分かと思いました。また、副作用のケアなど、普段から知識を増やし、患者様のお役に立ちたいと思います。
- ・ アドヒアランス向上につなげることが一番の課題だと思います。金銭的にも、かつ若い方には軽度なSEも服薬拒否につながる恐れがあるため、患者と寄り添う姿勢が大事だと思いました。
- ・ 自宅で治療を行う患者さんは病気や薬に関してしっかりと理解をしてもらったうえでフォローをしていかないとアドヒアランスが低下し治療効果が得られなくなるため積極的に指導、指導後のフォローが必要と感じた
- ・ 服薬の支えになれば幸いです。
- ・ 重要。薬剤師の関わり方によって、効果も変わってしまうこともありえる
- ・ 適切な薬物治療を続けていくために、患者さんと医師の間に立つこと。
- ・ 病院で聞いたけれど理解できなかったこと、続けていく中で出てきた不安などに、薬剤師は細やかに対応するチャンスが定期的にあるので、しっかりと寄り添っていくべきだと思います。
- ・ アドヒアランス向上させることと副作用の対応
- ・ とにかく、コンプライアンスを上げて、患者目線で対応し、不安を取り除く事が大切と考える。
- ・ 小児、AYA世代の患者様は治療期間が長期にわたり、人生の重要なイベントを病気と闘いながら経験なさる事になるので、ライフステージに合わせたサポートができる薬剤師になりたいと思った。お医者様に相談しにくいことも、長くかかわっている薬剤師に相談してみようと思っていただけるように、信頼関係を築ける薬剤師になりたい。
- ・ 副作用への対処も含め、服薬遵守できるようサポートしていく。
- ・ 服薬コンプライアンスが再発予防に重要なため、逐一内服状況の確認を担うねきである
- ・ 身近な相談できるひとのひとりになる必要があると思います。
- ・ アドヒアランスが良ければ予後が良い事を伝え、不安な気持ちはあるだろうけど前向きに治療に取り組んでいただく手助けをする
- ・ 継続的な服用の重要性を薬剤師が様々な形でフォローすることは重要であり、患者様のコンプライアンス維持の向上に繋がると感じました。
- ・ 医師と患者さんの間を取り持つ関係、患者さんの持つ悩みなどを一緒に考えることが必要となるのではないのでしょうか。単に薬剤の知識だけではなくトータルサポートの服薬指導を実施していく必要があると考えます。
- ・ コンプライアンス向上の為に患者様に寄り添いたいと感じました。
- ・ 医師に聞きそびれたことなどを聞ける身近な相談相手として重要な役割を担っている
- ・ 1週1回の服用忘れでも効果が落ちてしまうため、患者様のアドヒアランスを良好に維持する必要があります。患者様の生活に寄り添って薬を継続してもらえよう薬の説明の際の副作用対策や後日のテレフォンフォローアップで薬剤師としてサポートし、テレフォンフォローアップで得た患者様の状態を処方医と共有することで継続のサポートができると感じました。

- ・ すこしでも、力になればと感じました。とくに長期服薬継続することになる場合にはすこしでもサポートできればと思います。
- ・ 患者の心身負担の軽減を、少しでも担えればと考えられるようになる
- ・ 副作用に対応していく。
- ・ 服薬期間が長期になるからこそ、副作用やアドヒアランスなど、その時に必要なアドバイスが必要でがある
- ・ 副作用モニタリング 副作用支持療法
- ・ 今までとりあえず副作用、服用状況の確認をしているだけだったので、もっと役にたてるように頑張ります
- ・ 薬局で気づくこともあるので、さらに学んで、患者様に寄り添い、患者様の人生の一助となる。
- ・ 医師には話しにくい相談を受けたりアドヒアランスの重要性や副作用への対処法等のアドバイスをしていける存在として重要だと思います。
- ・ 主治医の前で言えない事を話せるのが薬剤師だと思います。有害事象の早期発見などに寄与するように日々活動致します。
- ・ 医師に相談出来ない事も、薬剤師には相談できる、そういう薬剤師にならないといけないと思いました。
- ・ 服薬率向上につなげる重要性が大きいと感じた
- ・ 患者さまのアドヒアランス向上・維持に努め、その時期にあった指導を適切に行い、場合によっては、患者さまと医師との架け橋となりサポート的な役割を果たせたらと思います。
- ・ 10日に1回忘れることが治療効果を低下させるのは驚きました。大変な病気だから飲まないことはないと思い込んでいましたが飲みたくなく忘れることもあると知り副作用対策も含めコンプライアンスを高めるように伴奏したいと思います。
- ・ 医師の説明で消化できない部分を補うことができたらいと思う。ただ、先生から十分に聞いているので、気になることはない返答される方も多く、切り込み方が難しいと感じる。
- ・ 薬剤の知識だけでなく、CML治療の将来性など理解し、患者さんに合わせて、服薬指導をするものと思います。
- ・ 服薬アドヒアランスの維持が治療効果に直結するということを学びましたので、服薬指導時のアドヒアランスの確認を確実にし、万が一維持できていない場合にはその原因を聞きだし主治医へフィードバックすることであると思います。
- ・ 副作用に対しての適切な対処法を提案し、服薬アドヒアランス向上に貢献すべきと思います
- ・ 長期に渡る服薬をきちんと継続していただけるように、不安や不満を受け止めながら、寄り添っていくことが大切かと思いました。
- ・ 服薬継続をサポートすることが重要と思いました
- ・ 副作用のチェック、アドヒアランスの順守の指導など非常に大事な役割であると思う。
- ・ 他の病気でも同じであるが、医師には聴きづらいこと、医師の説明では十分理解できないことなど相談相手になることが重要。そのためには、その病態や治療薬に関する深い知識が必要。今回、CMLやその治療薬への理解が進んだことで対応できると思います。
- ・ アドヒアランスの向上、副作用への対処の仕方
- ・ 非常に大切な役割を担っていると思った
- ・ 内服薬が治療の中心になり、多くは一生飲み続ける必要があるため、薬剤師が寄り添っていくことが、心理面でも治療効果の面でも重要。
- ・ TKIを服用する患者様にとって、一番近い医療従事者は薬局薬剤師であると考えます。患者様の悩みをしっかりと聞き、一緒に解決する役割が薬局薬剤師にあると考えます。
- ・ 服薬期間中のフォローアップを通じて副作用の早期発見や処方提案について、医師にフィードバックできると思います。
- ・ 今まで副作用の聞き取り、数値の聞き取りがしっかりできていませんでした。これからは掘り下げて聞き出し、治療の伴奏者になりたいです。
- ・ コンプライアンスの向上のため、体調だけでなく治療費についても理解のある対応が必要だと思った。



- ・ 患者様が安心して服薬できる力になれると思う。
- ・ 服薬が継続できるようにサポートする
- ・ 週に1回飲み忘れてしまうだけで、効果が得られない可能性が非常に高くなるということ  
をグラフで見ることでより理解でき、薬剤師がアドヒアランス向上のための指導を継続  
的にしていく重要性を改めて強く感じました。
- ・ 患者さまのための薬剤師の行動できることが、今回の勉強でしっかり得られたように思  
います。今回の知識をしっかりと現場で活かしていきたい。
- ・ どの疾患でも言えることであるが、医師には中々相談できないことも、患者の立場に  
なって寄り添うことで薬剤師には話してもらえたり気づけることがあると思う。特に  
CMLの治療においてはアドヒアランスが重要であるため、継続した治療のために薬剤師  
ができることは多いように感じた。
- ・ コンプライアンスをいかに良くさせるか、副作用予防や治療の観点からも日々の関わり  
が大切と感じました
- ・ 長期的な治療が必要である上、金銭的負担や副作用などアドヒアランスを低下させる要  
因も多い。患者さんによっては診察室で相談できないこともあるので、そのような時に  
薬剤師が寄り添うことが出来れば非常に大きな役割を果たせると思う。
- ・ 患者さんのアドヒアランス向上のため最大限のフォローを行う
- ・ 副作用、服用方法など基本的なことだけでなく、経済的な面も患者に合わせて考えな  
ければならない
- ・ TKIの服用は長期間であり、服薬率を高く保てるようにサポートしていくことが必要だと  
思った
- ・ 服薬コンプライアンスが重要な薬だが、患者様には続けていく不安となる要因が様々あ  
ることを知ることができ、日々の服薬に対して適切なアドバイスを今後行いたい。
- ・ アドヒアランスの向上、これに尽きると思います。服薬させるのではなく、薬剤師の説  
明で継続服用の必要性を理解してもらえるようにしなければいけないと思います。
- ・ 医師に伝え忘れた点を拾い上げるなど、立場の違いから聞き取りやアドヒアランス向上  
に寄与していく必要があると感じました
- ・ 服薬をサポートし、治療につなげていけるような役割を担えるよう、服薬指導で今まで  
以上に努力したいと考えております。
- ・ 正直研修見る前だと疾患に対する知識はなかったため、表面上の説明しかできなかつた  
と思いますが、今回の研修を受けて患者に寄り添った対応ができるようになったと考え  
ます。
- ・ 長期に及ぶ薬物療法における伴走者として、薬剤師の役割は大変重要と感じた。
- ・ 服薬AD向上に必要
- ・ 生涯のみつづける大変さを少しでも手助けできるといいと思う。
- ・ 門前薬局の場合と近所のかかりつけ薬局では異なると思われる。近隣のかかりつけ薬局  
であれば、日常生活から薬剤に関することまでかなり知りえる状況にあり、また常に直  
に相談を受けれる状態にあることが強味と思われる。近隣の医療関係者の係りは、  
MR4.5又はTFRに近づくために必要であり、薬剤師のフォローは重要と考えられる。特  
に小児やAYA世代の余命を考えるとその役割は大きいと思われる。
- ・ TKIのない以前と比較すると、素晴らしい治療効果があるが、単なる副作用だけではない  
苦痛（経済的、心理的、成長障害、妊孕性など）が多く残っており、素直に「応援した  
い、力になりたい」と感じた。世間話ができる距離感や信頼関係を築き、診察室では気  
づけなかった副作用や患者の悩みをすくいあげ、医師に報告や助言、ともに考えるな  
ど、少しでもサポートできるような存在になれることが理想と思う。
- ・ 薬剤に対する諸注意だけでなく、長く継続する治療を鑑みて患者さんの身近に居る医療  
者としての立場と思う。
- ・ 患者のサポート（服薬継続率向上や副作用フォロー、悩み相談等）に対し、忙しい医師  
のフォローをする役割は大きいものと思います。
- ・ ポイントを押さえる事で予後が変わると思いました
- ・ 薬剤師の役割として、副作用対策と、服薬アドヒアランス向上のサポートが重要と感じ  
ました

- ・ 耐性ができたり、副作用が起こった際の対処方法などを適切に説明し、患者さんに安心感を持たせるような役割を果たしたいです。
- ・ 寄り添うこと
- ・ 患者の気持ちを理解するとともに服用の重大性を伝えて、患者がより良い治療を受けていけるよう、手助けをする
- ・ 心の逡巡を明確に解きほぐし、薬剤師領域で患者さんに対し将来を分かりやすく説明指導できること
- ・ きちんと服用できていることを確認することの大事さ、体調の変化を確認して副作用のチェックをすることは大事な役割だと感じました
- ・ 飲み忘れないように提案していきたい。
- ・ 一番はCP維持だと思います。その為、CPを維持するために問題となっていることを吸い出すため、時間をかけて話を聞くことが役割になるかと思います。また、途中も電話なりなんなりで経過を確認して必要な医療機関への連携、情報提供をスピード感をもって行うことをベースとしたいと思います。
- ・ 患者さんに近い目線で寄り添いサポートしていきたい
- ・ 生存期間に関わる重大な疾患であり、長期にわたり治療するため、高いアドヒアランスを維持するために副作用や服用状況をきちんとフォローする。
- ・ 医師と患者をつなぐうえ必要だと思った
- ・ いつでも気軽に相談できる専門家としての役割を果たすことだと思います。
- ・ 服用状況 副作用に柔軟に対応していきたい
- ・ 副作用の兆候聞き取りやコンプライアンス維持のサポート
- ・ 治療初期のアドヒアランス向上のために、服薬の不安を具体的に傾聴しながら、かつ、薬学的に判断しながら支援していくこと。治療歴の長くなった方に対する支援は多彩であり、何がベターか、その人にとっての幸せかを考えながら寄り添っていきたい。
- ・ 治癒が難しく長期間服薬により悪化を抑えることになる患者様が多い。薬剤師は服薬継続の重要性を理解していただき、有害事象が出ているようであれば相談にのり、必要と判断したら医師に薬の変更を提案するなど、薬剤師が果たすことができる役割は多いと思う。気軽に相談できると思っていただき、信頼していただけるような自己研鑽とコミュニケーション能力が必要だと思う。
- ・ 患者さんが安心して服薬・生活をする上で薬剤師の役割は重要だと思います
- ・ あまり時間のとれない医師の説明を分かりやすく伝え、医師の治療方針に沿った理解を患者様に深めて頂く役割を担っていると思います。